

部活動あり方検討委員会 資料

- ① 加東市の現状
- ② 今後の目指す地域展開の形
- ③ 地域展開をするまでのプロセス



加東市教育委員会

加東市の部活動に対する現状

部活動

生徒

サッカーがしたいから
サッカー部に入ろう！

何でもいいや

友達が入るから
私も入ろかな～

ダンスがしたいけど学校に部活がないなあ

学校にある部活動の中から何を
しようか 考える生徒がほとんど

教員

土日休みたいけど、
部活動見に行かなきゃ。

練習メニュー
どうしよう

行事の打ち合わせ
まだできてない…

授業の準備しないと…

朝練があるから
早くいかないと…

放課後の活動も
見に行かないと…

職員会議の資料
まだできてないや

やることが多すぎて
就業時間内に業務が終わらない

加東市の部活動に対する現状

部活動

保護者

自分がしたいと思う部活動に参加してるのか

一生懸命取り組んでほしい

たくさん友達を作してほしい

社会性を身につけてほしい



部活動は、成長の場・交流の場、
生き生きと頑張してほしい

地域

いつどこで活動しているのかわからない

あまり関与してない

総体・新人戦
KCVで見る

近所の子が、野球
しているらしい



気にはなるけど
どう関わったら
いいかわからない

あまり関わることなく、どのような
活動をしているのかわからない

加東市の目指す地域展開の在り方

地域クラブ

生徒



楽器が演奏できるようになりたいけど、どこでできるかなあ



いろんなスポーツをやってみたいなあ



パークゴルフって、どこでできるのかな？

もっとうまくなるためには、どこで活動したらいいかなー。

自分の時間・過ごし方を
自分で**デザイン**(計画)する

教員



心に余裕をもって
仕事に臨める

授業の準備が
しっかりできるぞ～

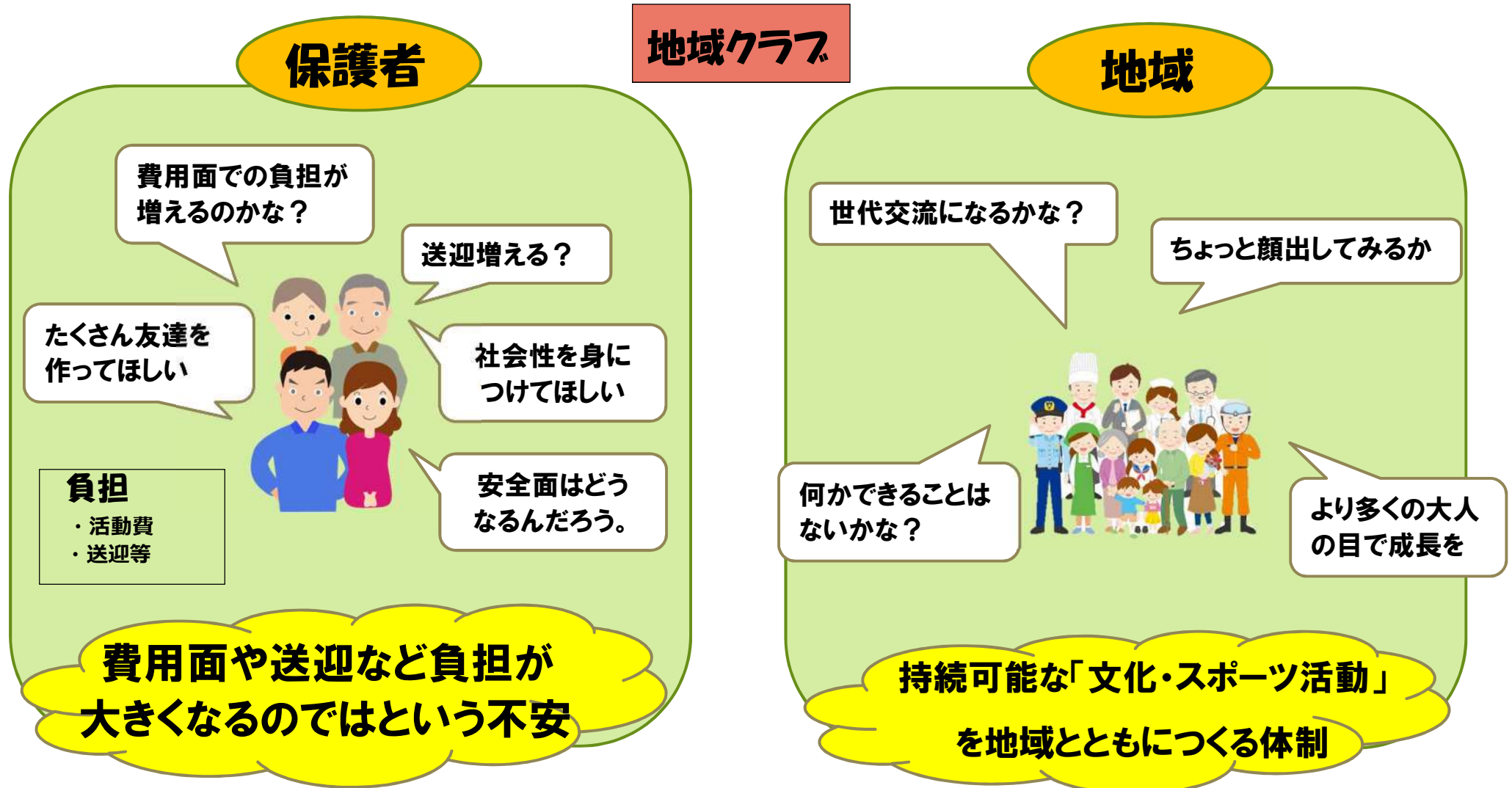


子どもたちの頑張る姿を
クラブでも支援したい

これからも指導に
携わりたい

余裕が生まれ、よい一層
授業や生徒対応に力を注げる

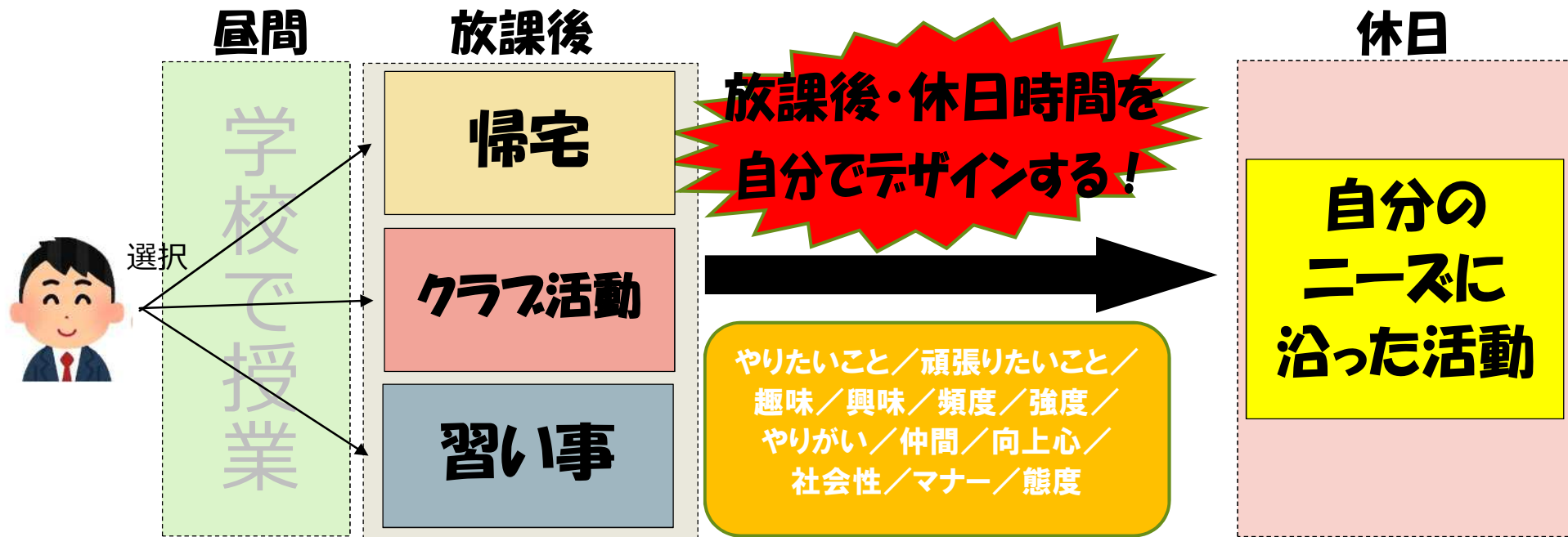
加東市の目指す地域展開の在り方



加東市の目指す地域展開の意義

目的

スポーツ・文化活動を通して、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な「人間力」の育成を図るとともに、生涯を通じて、様々な活動や出会いを通して、人生を豊かにし、彩りある生涯を過ごすきっかけの一助になることを目的とする。そして、地域全体で見守る体制を構築していく。



地域展開によって予想される効果

① 生きる力の形成

- ・スポーツ・文化活動を通して、社会を力強く生きていくために必要な力を身につける。

② 価値観の多様化

- ・1つの活動にとらわれず、様々な活動に目を向けることで、価値観の多様化につながり、豊かで彩りある人生を送るための選択肢が増える。

③ 地域とのつながり

- ・指導者が教員だけではなくすることで、より多くの人と触れ合い、地域全体で見守る体制が構築される。

部活動地域展開の具体的な取り組み

【これまでの部活動あり方検討委員会での協議事項】

[モデル事業の実施]	<u>令和 6 年度の総体後</u>	⇒	<u>各校で 1 種目ずつモデル事業へ</u>
[地域展開の拡充]	<u>令和 7 年度の総体後</u>	⇒	<u>休日の部活動、随時地域展開</u>
[地域展開（土日）]	<u>令和 9 年度の総体後</u>	⇒	<u>休日の全部活動、地域展開</u>
[地域展開]	<u>令和 11 年度から</u>	⇒	<u>全部活動、地域展開</u>

【モデル事業の実施】

- ・ 土日の部活動の地域展開という形で、原則土日に教員が関わらない形で活動。地域人材や現在の部活動指導員等に指導をおまかせする。
- ・ 指導したいという先生は、指導してもらってもよい。

【検証課題】

- ・ 教員が関わらない形で、どのようにして連携が図られるか。
- ・ 運営上、不都合や不備等がないか。

部活動地域展開における課題点

①生徒数の推移

- ・近年の加東市内の生徒数

②指導者の確保

- ・指導者を確保するには、どのようにしていけば良いのか

③受益者の不安

- ・部活動が地域移行することで、どのような負担が出てくるのか

④地域クラブ活動資金

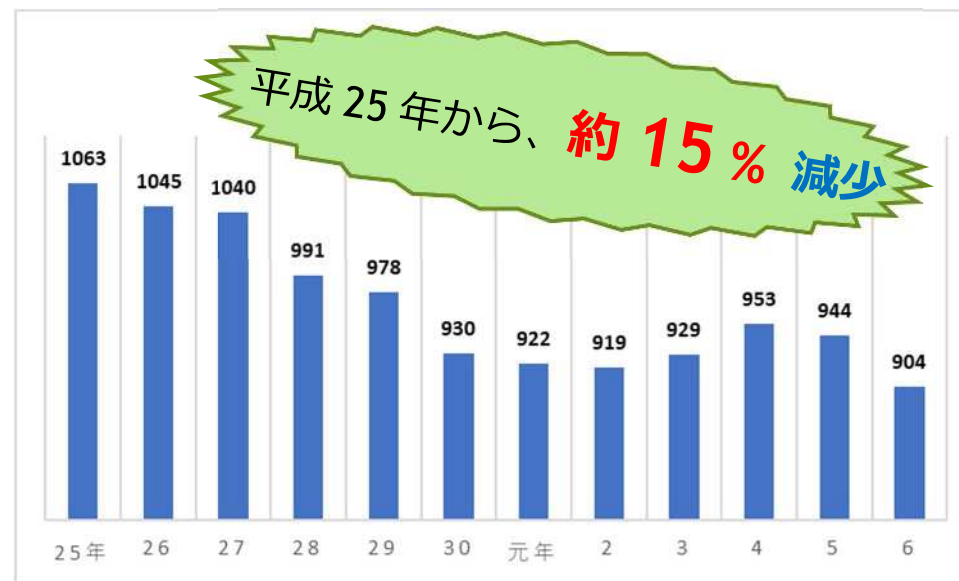
- ・地域クラブを運営していくにあたって、活動資金はどのように調達するのか

⑤大会参加条件

① 生徒数の推移 《加東市内の状況》

○ 生徒数の推移

	平成						令和					
	25年	26	27	28	29	30	元年	2	3	4	5	6
社	485	474	484	456	453	411	425	414	417	419	433	442
滝野	405	413	378	356	346	349	347	339	338	347	333	298
東条	173	158	178	179	179	170	150	166	174	187	178	164
合計	1063	1045	1040	991	978	930	922	919	929	953	944	904



★今後、生徒数の減少が続き、単独校で試合に出ることができない競技が増えると考えられる。

○ 現在の部活動参加生徒数 ※次のページを参照

加東市内 部活動 入部状況一覧

運動部	部活動		活動状況	部活動入部状況												社	滝野	東条	3校		
				社				滝野				東条									
	社	滝野	東条	備考	男		女		男		女		男		女						
					1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1						2
軟式野球	○	○	○	3校合同で活動中	10	2			4	4		1	2	2			12	9	4	25	軟式野球
サッカー	◎	○	○	附属・滝野合同	6	6			11	1			2	9		3	12	12	14	38	サッカー
陸上競技	◎				12	8	10	7									37	0	0	37	陸上競技
剣道	◎				1	2	2										5	0	0	5	剣道
バドミントン			◎										5	1	4	2	0	0	12	12	バドミントン
男子バレー	○	○	○		3	6			4	7			3	4			9	11	7	27	男子バレー
男子バスケ	◎	◎			4	15			8	8							19	16	0	35	男子バスケ
男子卓球	○				3	10											13	0	0	13	男子卓球
男子テニス	◎	○			15	11			9	11							26	20	0	46	男子テニス
女子バレー	○	○	○				6	14			5	5			2	7	20	10	9	39	女子バレー
女子バスケ	◎	◎	◎				9	6			5	5			5	3	15	10	8	33	女子バスケ
女子卓球	○	◎					11	11			17	8					22	25	0	47	女子卓球
女子テニス	○	○	○				14	3			6	12			9	10	17	18	19	54	女子テニス
ソフトボール	○						10	5									15	0	0	15	ソフトボール
校外部					11	13	1	1	3	9	1	0	7	3	2		26	13	12	51	校外部

文化部

吹奏楽	○	○	○			2	2	5	12			4	10	4	3	3	2	21	14	12	47	吹奏楽
美術部	○							6	1									7	0	0	7	美術部
文芸部			○													5	1	0	0	6	6	文芸部
科学部																		0	0	0	0	科学部
科学園芸		○								2	4							0	6	0	6	科学園芸
飼育園芸	○						1	2	1									4	0	0	4	飼育園芸
無所属						3	8	4	5		2		2		2		1	20	4	3	27	無所属

校外部 入部一覧表

運動部	クラブチーム入部状況												社	滝 野	東 条	3校	
	社				滝野				東条								
	男		女		男		女		男		女						
学年	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2					
サッカー	7	9	1			6			1	1			17	6	2	25	サッカー
野球	3	2		1	1	6			6	1			6	7	7	20	野球
バスケ	1												1	0	0	1	バスケ
ダンス												2	0	0	2	2	ダンス
ボクシング						1							0	1	0	1	ボクシング
マーチングバンド		1											1	0	0	1	マーチングバンド
空手		1											1	0	0	1	空手
合計	11	13	1	1	1	13	0	0	7	2	0	2	26	14	11	51	合計

② 指導者の確保 《指導者を確保するには、どのようにしていけば良いのか》

○今後の地域展開までのプロセス

現在 ⇒ 各校で部活動を行っている。

順次 ⇒ 合同部活動 もしくは 拠点校 として活動し、のちに 地域クラブ へと移行

理由

- ① 部活動を市内に1つにすることで、指導者の必要人数が確保できる。
- ② 複数人体制で指導することができる。
- ③ 地域クラブへスムーズに移行できる。

○指導者確保のために

- ① 登録する組織を作り、人材バンクとして登録してもらう。

今は、人材登録者数を増やしていき、部活動移行になる際に指導者として活動していただく。

登録条件としては、こちらが決めた内容にご理解をいただいた方。（今後検討事項）

③ 受益者(保護者)の不安 《費用／送迎など》

○受益者への負担・不安

【費用面】

- ① 活動費
- ② 指導者への報酬
- ③ 保険等

スポーツ庁の試算では、部活動よりも年間、1 家庭
17000 円ほど支出が増えるとも言われている。



【その他】

- ① 移動手段
- ② 生徒間や指導者とのトラブルがあった時に学校外の活動なので先生方が間に入って話し合うことが難しい。

これらの問題を少しでも
和らげる努力をする

④ 地域クラブ活動資金 《大会参加費／用具など》

○補助金

- ・スポーツ協会やスポーツ少年団、文化連盟に加入・加盟することで、支援の対象となる。
⇒そのためには、確かな組織をつくり、運営方針を持ち、各協会・団体の承認を得る必要がある。

○受益者負担

- ・受益者から必要経費を集めることになる。

⑤ 地域クラブの大会参加条件

○中体連主催の大会に出場するための条件

(1) 部活動ガイドラインに沿った活動

①活動は、週当たり2日以上休養日を設ける。

◇平日は、少なくとも1日以上休養日を設ける。(1日あたり活動は2時間程度)

◇土曜日及び日曜日は、少なくとも1日以上を休養日とする。

(1日あたり活動は3時間程度)

◇週当たりの活動は16時間未満とする。

②その他にも学習指導要領では・・・

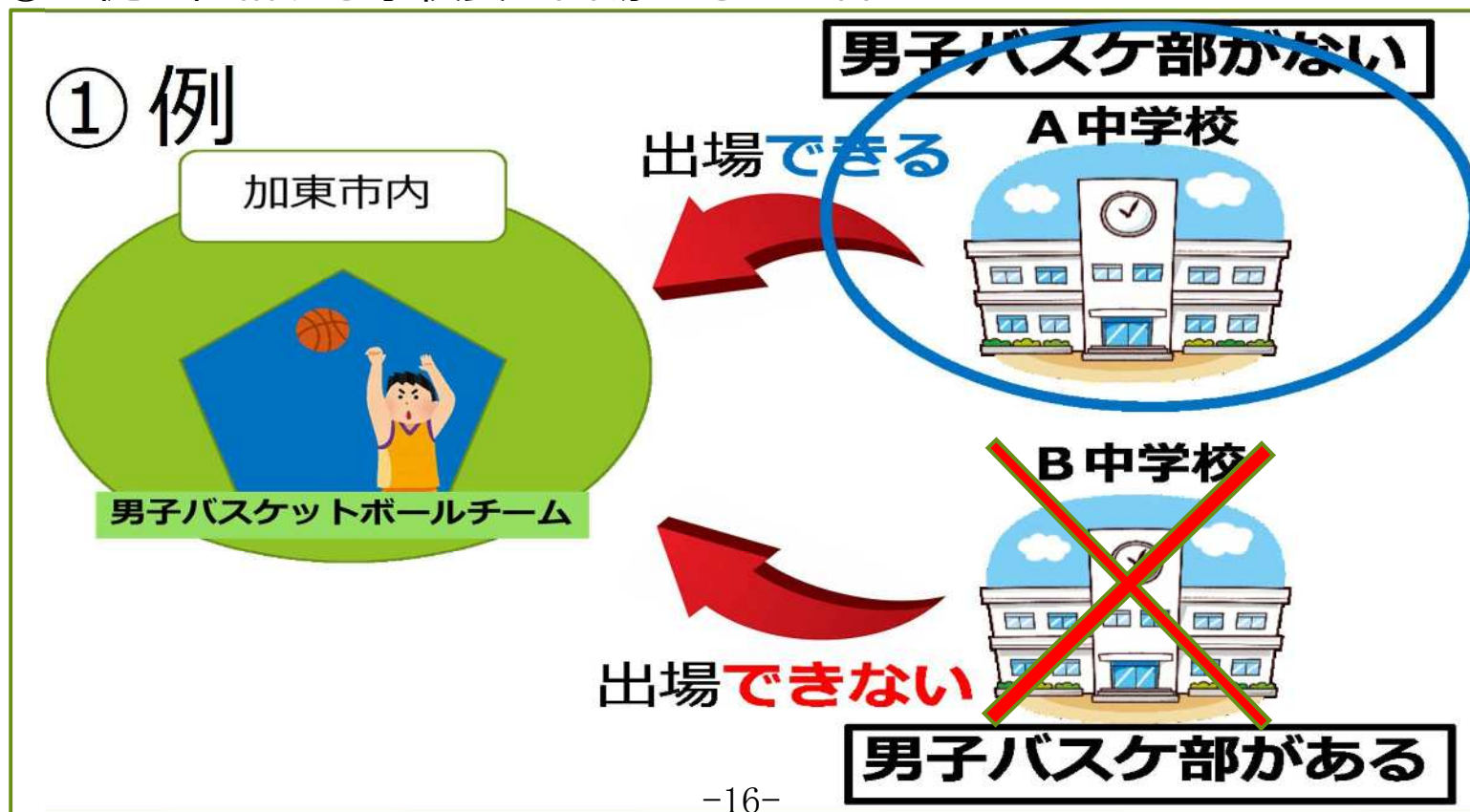
部活動は、「学校教育の一環」、

「学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の涵養に資する

など、生徒の多様な学びの場としての教育的意義」

(2) 出場条件

- ①選手の在籍校にその競技の部活動がないこと。
- ②県中体連に大会出場申請書を提出し、認められること。(提出期限は1月～2月頃)
※ただし、部活動から移行した地域クラブ活動は順次受付が可能。
- ③指導者は、公認スポーツ指導者資格を有していること。(種目特有の資格もある)
- ④生徒の在籍する学校長が出場を認めた者。



⑥ 今後の具体的な動き 《モデル事業》

○今年度の動き

◆各校モデルとなる部活動で、休日の活動を部活動指導員中心に運営する。

【モデル】

社中学校 : 剣道

滝野中学校 : 卓球

東条学園 : 女子ソフトテニス

【検証課題】

- ・教員が関わらない形で、うまく連携して部活動を運営できるのか。
- ・運営上、不都合や不備等がないか。

⑦ 競技ごとの移行イメージ 《モデル事業》

案

新チームより	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
剣道 (社)	部活指導員 が指導(土日)			地域クラブ へと移行		地域移行
卓球 (滝野)	部活指導員 が指導(土日)			合同チーム もしくは拠点校	地域クラブ へと移行	
女子テニス (東条)	部活指導員 が指導(土日)			体制が整えば地域クラブ へと移行		
芸術クラブ				活動開始		
その他 部活動				部活指導員 が指導(土日)		

⑧ 今後の検討課題 《協議事項》

- ① 地域移行にむけての準備期間
- ② 登録団体をどのような組織にするか
- ③ 所属（登録）チームの条件
- ④ 登録できる指導者の条件
- ⑤ 移動手段についての対策
- ⑥ 指導者が見つからなかった活動は、どのようにしていくのか